

1. イベント概要

期 日：平成30年9月29日（土）

会 場：信濃川大河津資料館・大河津出張所

内 容：長岡－大河津分水を往復するバスツアー。信濃川大河津資料館や堰の操作室等を見学していただきました。

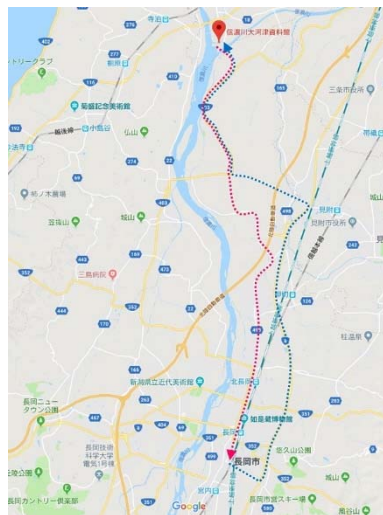
主催者：まちなかキャンパス長岡 参加者数：35名

まちなかキャンパス長岡主催の
大河津分水の講座が開催されます！

9月29日（土） 13:30～17:00 (9月28日(金)夜) 申込5/10名 LoveRiverNet 講師：龍氏	もうすぐ100歳！大河津分水 大きな河川のある地域にとって、洪水は避けることのできない災害です。日本一長い河川である信濃川が大河津分水を堰き止めて、長岡市と大河津分水を往復するバスツアーを開催いたします。大河津分水を堰き止めて、長岡市と大河津分水を往復するバスツアーを開催いたします。
10月24日（水） 19:30～20:30 申込5/10名 信濃川大河津資料館 講師：山田氏	大河津分水路の課題と改修工事 大河津分水路は、天正11年の築造後、幾度も洪水や水害から被害を受けてきました。しかし、近年は気候変動の影響で洪水や水害が増加し、大河津分水路の課題と改修工事の必要性が指摘されています。大河津分水路の課題と改修工事の必要性についてお話しします。

お申込み・お問合せ
 TEL 0258-39-3300 <http://www.machicamp.jp>





あいにくの雨模様にも関わらず、定員を拡大し、大勢の方々からご来訪いただきました。

2. イベント状況

2022年に通水100年を迎える大河津分水と長岡の関係性を再確認するバスツアー。寺泊や中之島に多い大河津分水の請願者、横田切れにおける長岡の被害や大河津分水完成以降の水害の特徴、そして長岡へのハクチョウの飛来やサケの遡上など、歴史、環境、防災など多様な観点での見学が開催されました。



信濃川流域模型の周りに集まり、源流の山である甲武信ヶ岳の由来や長岡市を流れる太田川や猿橋川の話も話題となりました。



横田切れコーナーでは、約120年前に起きた水害の記録を見て「長生橋も流されたのか・・・」と興味深く話を聞かれています。



新幹線や高速道路の建設にも大河津分水が影響したという話に対して「長岡の発展にも影響したということですね」との声が。



昭和6年に長岡で開催された上越線全通記念博覧会に出品された旧可動堰の模型。80年前につくられた精巧な模型に驚かれています。



4F模型コーナーでは、大河津分水路改修事業による長岡の恩恵や今後の治水対策などについて、たくさんの質問がありました。



普段入ることができない堰の操作室を見学し「不断の堰操作により私たちの暮らしは守られている」ということに感慨深い様子でした。